

こゝに於て残つてゐるのは、最初の佛像の年代に關する考を定めるのみのものであるが、之は容易なことと思ふ。此の問題に最も重要な歴史的事實は已に知らるゝ如くで、紀元前二百五十年頃には、セリュクス *Seleucides* がギリシア太守に對して獨立を宣し、五十年後には、デメトリオス及びユークラテীদেরが印度の西北を征服し、其の後繼者アポロドトス及びメナンドルは、更に深く此の地に進出したけれども、紀元前百三十五年頃、ヘリオクレス *Helios* の世に、印度ギリシア王國のバクトリアの部分は、中央アジア草原の蠻民に侵された。ギリシア人は其の背面ヒンヅクシーシュの嶮を最善を盡して固め、更に五十年許りの間印度の地を保持し得たのであるが、終に、シャカ *Sakas* 及びパラーヴ *Pahlava* 即ち、シシア及びバルシア人の奪ふ所となつた。其或者はアフガニスタンの山中に避けた。紀元一世紀の始め頃、月氏 *Kushana* の君臨するに至つた時にも猶ほヘルマイオスはカピシヤを支配したと思はれる。斯の如きは少くとも、極めて目の粗い歴史の布といふべきもので、巧みな言語學者が、古錢學の結果や支那の證據を藉りて我々の爲に擴げて呉れたもので、